

# 九州南部・奄美地方 秋(9~11月)の気候統計値に関するお知らせ

平成28年12月1日  
鹿児島地方气象台

**9月**：上旬は台風第12号や第13号及び前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった日がありました。九州南部では、上旬の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。中旬以降は、前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなりました。特に九州南部では、20日に台風第16号が大隅半島に上陸したため、19日から20日は大荒れとなった所があり、延岡や枕崎で日降水量や日最大1時間降水量の9月及び年の極値を更新するなど記録的な大雨となりました。

**10月**：上旬は天気は数日の周期で変わりました。九州南部では、3日から5日は前線や東シナ海を北上した台風第18号の影響で大雨となった所がありました。中旬は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多く、奄美地方では、16日は大雨となった所がありました。下旬は天気は数日の周期で変わりました。九州南部では、22日から23日は前線や台風第22号から変わった低気圧の影響で大雨となった所がありました。

南から暖かく湿った空気が流れこみやすかったため、月平均気温は全ての地点でかなり高く、「月平均気温の高い方から」の極値を更新しました。

**11月**：上旬の前半までは大陸からの高気圧に覆われて概ね晴れました。その後は、高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりましたが、奄美地方では、前線や寒気の影響で下旬は曇りや雨の日が多くなりました。前線や暖かく湿った気流の影響で、九州南部では14日に、奄美地方では17日から18日にかけて大雨となった所がありました。

**平均気温**は、全ての地点で「かなり高い」となり、「3か月平均気温の高い方から」の極値を更新しました。**降水量**は、名瀬で「少ない」、沖永良部で「平年並」となりましたが、その他の地点では「多い」となり、延岡、鹿児島、阿久根、枕崎では「かなり多い」となりました。**日照時間**は、沖永良部では「平年並」となりましたが、その他の地点では「少ない」となり、宮崎、都城、油津、阿久根では「かなり少ない」となりました。

## 2016年秋(9~11月)の気候表

	地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比) 階級			日照時間(平年比) 階級			
		( )	( )	( )	(mm)	(%)	1mm	(h)	(%)		
宮崎県	宮崎	21.2	(+1.8)	+*	983.0	(156)	+	35	415.6	(83)	-*
	延岡	20.3	(+1.6)	+*	1024.5	(168)	+*	36	428.8	(85)	-
	都城	20.5	(+2.0)	+*	906.5	(186)	+	37	399.8	(82)	-*
	油津	21.8	(+1.4)	+*	896.5	(143)	+	39	408.3	(86)	-*
鹿児島県	鹿児島	22.6	(+1.5)	+*	713.0	(176)	+*	31	466.7	(90)	-
	阿久根	21.0	(+1.4)	+*	830.0	(215)	+*	32	438.1	(84)	-*
	枕崎	22.0	(+1.6)	+*	852.0	(198)	+*	34	477.2	(91)	-
	屋久島	23.0	(+1.3)	+*	1319.5	(131)	+	48	326.0	(90)	-
	種子島	23.3	(+1.4)	+*	883.5	(154)	+	36	396.2	(87)	-
	名瀬	24.9	(+1.3)	+*	600.5	(84)	-	50	308.1	(90)	-
	沖永良部	25.9	(+1.3)	+*	438.0	(102)		36	520.5	(103)	

(注意) ・「階級」の欄の符号は、+ :高い(多い) :平年並 - :低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年間のうち、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に\*を付加した。この場合には +\*:かなり高い(多い) -\*:かなり低い(少ない)と表現できる。  
・値の横に ) や ] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが ]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

## 2016年秋 (9~11月)の順位更新表

・ 3か月間の平均気温の高い方からの順位更新

順位	地点名	値( )	平年値( )	平年差( )	これまでの1位( ) (西暦年)	統計開始年
1	延岡	20.3	18.7	+1.6	20.1 (1961年)	1961年
1	阿久根	21.0=	19.6	+1.4	21.0 (2007年)	1939年
1	鹿児島	22.6	21.1	+1.5	22.3 (2007年)	1883年
1	都城	20.5	18.5	+2.0	19.9 (2000年)	1942年
1	宮崎	21.2	19.4	+1.8	21.0 (1998年)	1886年
1	枕崎	22.0	20.4	+1.6	21.5 (2007年)	1923年
1	油津	21.8	20.4	+1.4	21.5 (2007年)	1949年
1	屋久島	23.0	21.7	+1.3	22.9 (1961年)	1938年
1	種子島	23.3=	21.9	+1.4	23.3 (1998年)	1948年
1	名瀬	24.9	23.6	+1.3	24.4 (2007年)	1897年
1	沖永良部	25.9	24.6	+1.3	25.6 (1998年)	1969年

・ 3か月間の降水量の多い方からの順位更新

順位	地点名	値(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	これまでの1位(mm) (西暦年)	統計開始年
2	阿久根	830.0	386.5	215	859.9 (1945年)	1939年
3	鹿児島	713.0	405.2	176	850.0 (2004年)	1883年
3	枕崎	852.0	431.1	198	918.0 (2008年)	1923年